

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
第2外国語C II 中国語 2nd Foreign Language C II, Chinese	選	陳 梅隱 李 鵬	5年 機械工学科 電気情報工学科 物質工学科 環境都市工学科	2	週2時間							
授業概要	昨年度に習った中国語の知識を活用し、日常的な会話を身につける一方、もっと中国の文化、風習を理解する。											
到達目標	1、日常常用単語の量を増やす；2、日常常用会話を身に付ける；3、中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国を理解し、中国人との付き合い方を見つける											
評価方法	前期中間試験：試験成績80% + ノート10% + 課題10% 前期期末試験：試験成績50% + 前期中間試験成績30% + ノート10% + 課題10% 後期中間試験：試験成績50% + 前期期末試験成績30% + ノート10% + 課題10% 後期期末試験：試験成績50% + 後期中間試験成績30% + ノート10% + 課題10%											
教科書等	教科書：『北京コレクション』 相原茂・李貞愛 著（朝日出版社）											
内 容												
第 1 週	オリエンテーション・ 第6課 文法1、2、練習											
第 2 週	文法3、練習											
第 3 週	文法4、練習											
第 4 週	単語・本文・文化の森											
第 5 週	第7課 文法1、2、練習											
第 6 週	文法3、練習											
第 7 週	文法4、練習											
第 8 週	単語・本文・文化の森											
第 9 週	前期中間試験の説明、 第8課 文法1、2、練習											
第 10 週	文法3、練習											
第 11 週	単語・本文・文化の森											
第 12 週	第9課 文法1、練習											
第 13 週	文法2、練習											
第 14 週	文法3、練習											
第 15 週	文法4、5、練習											
第 16 週	前期期末試験の説明、単語・本文・文化の森											
第 17 週	第10課 文法1、練習											
第 18 週	文法2、練習											
第 19 週	文法3、練習											
第 20 週	文法4、練習											
第 21 週	単語・本文・ドリル											
第 22 週	文化の森、 第11課 文法1、練習											
第 23 週	文法2、練習											
第 24 週	後期中間試験の説明、文法3											
第 25 週	文法3（続き）、練習											
第 26 週	単語・本文・ドリル・文化の森											
第 27 週	第12課 文法1、練習											
第 28 週	文法2、練習											
第 29 週	文法3、練習											
第 30 週	単語、本文、ドリル・文化の森											
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学 習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B

中国語入門 ガイダンス（5年）

テキスト：『北京コレクション』 相原茂・李貞愛 著（朝日出版社）（第6～12課）

内 容：

中国語Ⅱは前年度の中国語Ⅰに続けて、『北京コレクション』（第6課～第12課）を中心として行いたい。前年度では発音、基本的な文法および簡単な会話を中心としたが、今年度では会話を中心として進める一方、日常生活でよく使われる中国語を身につけ、中国の文化、風習をより深く理解してもらいたい。

例えば、なぜ中国人（特に年配の方）にプレゼントを贈るときに「時計」を避けた方がいいのか。なぜ飛行機を乗る友達と別れる時に、もともと良い意味である「一路順風（道中ご無事で）」を使っていけないのかなど。これは前年度の発音をマスターした上でさらに中国語の深さを勉強してもらい、中国文化を理解し、中国人と付き合う方法をマスターしてもらいたい。したがって、この授業を選択するのは前年度の中国語Ⅰを選択していた学生を望む。時間の余裕があれば中国映画の鑑賞を実行し、中国の文化をたくさんの角度から分かつてもらいたい。

具体的には以下のように授業を行いたい。

前年度の中国語Ⅰで使用していた教科書『北京コレクション』の続きで、前期では第6課～第8課を中心として行い、後期では第9課～第12課を中心として行う。

具体的には授業の90分のうち60分で会話を中心とする授業を行う。中国人と簡単な交流ができるためには、中国語を話せるだけでなく、中国人が話す中国語も分からなければならない。そして、耳が慣れることは中国語を話すことにもプラスだと考えられる。従って、中国語Ⅱの授業では半分程度を中国語で授業し、分かれづらい部分は日本語で説明しようと考えている。そして、初めのうちは慣れるまでゆっくりしたスピードで話し、必要な場合は黒板に書きながら行いたい。

残りの30分は前年度に続けて「面白い中国語」と中国の文化や風習についての学習を中心としたい。できれば、中国語の新聞や、中国語のウェブサイトに載っている中国語の短い記事を読むような練習も行いたい。このような練習を通して、より深く中国語の文化と社会を理解してもらいたい。そして、中国語会話の練習も増やしていきたい。

評価方法：

前期中間試験：試験成績80% + ノート10% + 課題10%

前期期末試験：試験成績50% + 前期中間試験成績30% + ノート10% + 課題10%

後期中間試験：試験成績50% + 前期期末試験成績30% + ノート10% + 課題10%

前後期期末試験：試験成績50% + 後期中間試験成績30% + ノート10% + 課題10%